

国際交流研究センター活動報告

センター長 皆川 佳祐

国際交流研究センターでは、例年、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「さくらサイエンスプログラム」や留学フェア等を主な活動としてきたが、新型コロナウイルス感染症に伴う入国制限や渡航制限などの影響を考慮し、本年の実施は見送った。そこで、コロナ禍における新たな国際交流研究活動を実施すべく、本学の協定校であるベトナム ダナン大学とのオンラインシンポジウムを実施した。

ダナン大学には日本との交流を担当する日本センターがあり、日本との交流に積極的である。また、情報系、環境系の学生も多く在籍していることから、今回のシンポジウム実施により、交流の活性化や次年度以降のさくらサイエンスプログラムへの応募も期待できる。以下に実施概要を示す。

名称

第1回ダナン大学・埼玉工業大学国際シンポジウム

1st Joint Symposium between the University of Da Nang and Saitama Institute of Technology

実施目的

本学の協定校であるダナン大学とオンラインシンポジウムを実施することで、相互の研究分野の理解を図るとともに、今後の交流を活性化させるための議論を行う。次年度以降のさくらサイエンスプログラム等への応募につなげるイベントとする。

実施日時

2022年3月4日（金） 日本時間 11:00～13:30、ベトナム時間 9:00～11:30

実施場所

オンライン（Zoom）

参加者

ダナン大学および埼玉工業大学の学生，教職員（Zoom アクセス延べ 52 アカウント）

開催までの経緯

2021年5月 本年度の国際交流に関する検討

2021年6月 協定校の窓口，コンタクトパーソンの確認

2021年7月 ダナン大学への国際交流企画開催の打診

- 2021年8月 ダナン大学日本センターとのオンライン会議
シンポジウム開催承諾
- 2021年11月 教員向け一斉メールによる学内講演者募集開始
- 2021年12月 学内講演者募集締切
- 2022年1月 学内講演者決定，開催日決定
安全保障輸出管理学内手続マニュアルに基づく諸手続き

シンポジウム タイムテーブル

ベトナム	日本	Contents
9:00	11:00	開会，挨拶（丹羽先端研所長（経緯等の説明））
9:05	11:05	各大学の紹介（ダナン大学，埼玉工業大学）
9:15	11:15	研究紹介1（埼玉工業大学，機械工学科，皆川佳祐） 「Recent topics of seismic engineering and vibration control」
9:35	11:35	研究紹介2（ダナン大学，NGUYEN, Dinh Tuan; Dr.） 「Advanced Sensor and energy conversion materials: A Combined Experimental and Theoretical Study」
9:55	11:55	研究紹介3（埼玉工業大学，生命環境化学科，本郷照久） 「Environmental purification technology using rice husk ash」
10:15	12:15	休憩
10:25	12:25	研究紹介4（ダナン大学，LE, Hoang Son; PhD） 「Environmental Health Studies: Achievements and Future Directions」
10:45	12:45	研究紹介5（埼玉工業大学，情報システム学科，曹建庭） 「Research topics and achievements in our laboratory」
11:05	13:05	研究紹介6（ダナン大学，HOANG, Phuong Tung; Dr.） 「Application of bio-carbonation to improve properties of construction binders」
11:25	13:25	挨拶（Dr. Hoang Hai ダナン大学日本センター長（総括））
11:30	13:30	閉会

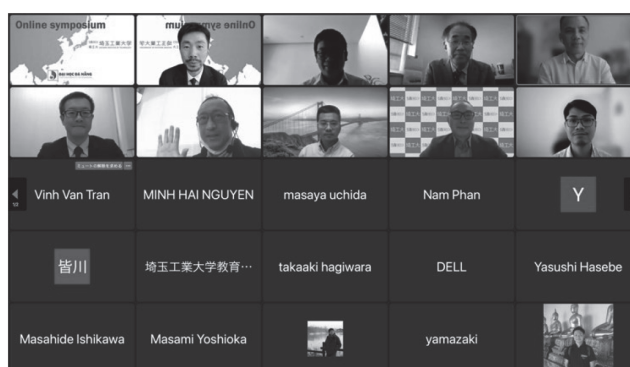


写真 オンラインシンポジウムの様子（2022年3月4日）